

# 高梁川源流長期キャンプ

特定非営利活動法人 自然体験活動支援センター



テーマ	自然体験活動による子どもたちの健全育成および環境教育。														
実施内容	<p>[実施期日]令和1年8月17日から令和1年8月23日(6泊7日)                  [活動場所]岡山県新見市神郷油野 宿泊地:氷室もりの学校                  [参加人数]小学4年生から6年生までの男女14名                  [スタッフ]キャンプディレクター1名(全日程)キャンプリーダー3名(全日程)                  林業体験講師1名 農業体験講師1名 備前焼講師1名                  [プログラム]</p>														
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="572 1003 683 1055">1日目</td> <td data-bbox="683 1003 1492 1055">オリエンテーション・アイスブレイク テント設営・集落散策</td> </tr> <tr> <td data-bbox="572 1055 683 1106">2日目</td> <td data-bbox="683 1055 1492 1106">林業体験(林業の話・間伐作業)・川遊び(川の仕組みを知る)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="572 1106 683 1158">3日目</td> <td data-bbox="683 1106 1492 1158">農業体験(ケールの収穫)・スタードーム作り(竹の切り出し)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="572 1158 683 1209">4日目</td> <td data-bbox="683 1158 1492 1209">洗濯・スタードーム作り(竹を割って部品作り)・備前焼体験</td> </tr> <tr> <td data-bbox="572 1209 683 1261">5日目</td> <td data-bbox="683 1209 1492 1261">スタードーム作り(組み立て)・トラストゲーム(信頼関係構築ゲーム)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="572 1261 683 1312">6日目</td> <td data-bbox="683 1261 1492 1312">「身を守る」と題し、受け身・護身術の練習・シャフトレッキング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="572 1312 683 1364">7日目</td> <td data-bbox="683 1312 1492 1364">帰宅準備・片付け・キャンプ全体のふりかえり・閉会式</td> </tr> </table>	1日目	オリエンテーション・アイスブレイク テント設営・集落散策	2日目	林業体験(林業の話・間伐作業)・川遊び(川の仕組みを知る)	3日目	農業体験(ケールの収穫)・スタードーム作り(竹の切り出し)	4日目	洗濯・スタードーム作り(竹を割って部品作り)・備前焼体験	5日目	スタードーム作り(組み立て)・トラストゲーム(信頼関係構築ゲーム)	6日目	「身を守る」と題し、受け身・護身術の練習・シャフトレッキング	7日目
1日目	オリエンテーション・アイスブレイク テント設営・集落散策														
2日目	林業体験(林業の話・間伐作業)・川遊び(川の仕組みを知る)														
3日目	農業体験(ケールの収穫)・スタードーム作り(竹の切り出し)														
4日目	洗濯・スタードーム作り(竹を割って部品作り)・備前焼体験														
5日目	スタードーム作り(組み立て)・トラストゲーム(信頼関係構築ゲーム)														
6日目	「身を守る」と題し、受け身・護身術の練習・シャフトレッキング														
7日目	帰宅準備・片付け・キャンプ全体のふりかえり・閉会式														
連携団体	林業家 大原亀義 備前焼(三国窯)大原砂利 三室農事組合法人														
成果・効果	<p>・林業体験では、間伐の意味(間引いて良い木を育てる・下草が生やし土砂の流出を防ぐ)を理解し、山の現状を学び山の大切さを学ぶことが出来た。また、林業の問題点を知ることも出来た。</p> <p>・スタードーム作りでは、竹の性質を知り、有効活用していかなければならないという話までに及んだ。</p> <p>・シャフトレッキングでは、川の仕組みを知ると共に、協力して目的を達成することを学んだ。</p> <p>・生活面では、数人はそれぞれ目標を持ってキャンプに臨み努力していたが、キャンプ未経験者との温度差があり、ついつい楽しい方に流れることもあった。各班のリーダーは班をまとめる事に終始悩んでいた。それは時間と共に全員に伝わり、各自の役割について考える意識が芽生えてきた。</p>														
評価	<p>[自己評価]事故・けがが人もなく、ねらい・目的をおおむね達成できた。</p> <p>[参加者による評価]次のキャンプにも参加したいとの言葉が大多数から聞けたことが、最大の評価</p>														
改善点	<p>今回は、食事作りを各班交代で全員の食事を作ることとしましたが、競争心が無く時間が掛かり過ぎることとなりました。次年度は、班ごとに食事を作り出来た順に食べることとし、チームワークの向上を図ろうと思います。遅ければ次のアクティビティにも参加できないことも想像できますが、ある程度の負荷をかけることで、自主性・協調性・責任感の向上につながると思います。</p>														

